

周辺地域と連携した甌島地域の観光活性化に係る調査事業－報告書（概要版）－

事業の背景・目的

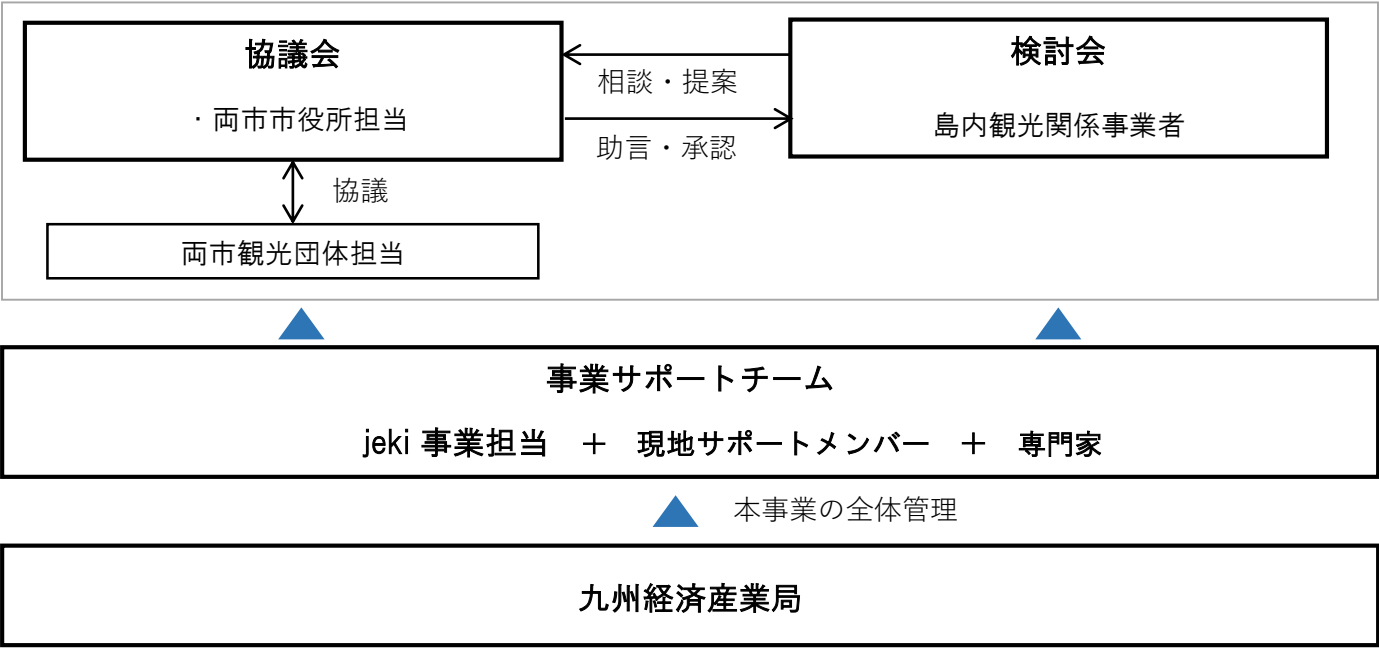
薩摩川内市では、甌島の観光を柱とした地域振興を図るため、「第2次甌島ツーリズムビジョン」を策定し、「甌島ツーリズム推進協議会」（平成27年度設立）において、甌島地域の観光地づくり、ガイド研修や、観光関連業者の情報交換などを積極的に実施、また令和2年8月には甌大橋が完成し、観光の起爆剤として期待が寄せられている。

このような中で、令和2年以降のコロナ禍においては、大々的な誘客施策を控えざるを得なかったことや観光関連事業者の担い手不足、高齢化、観光地として定着しない等の課題を抱えている。

一方、甌島へのアクセスは、薩摩川内市及びいちき串木野市（以下、「両市」という。）からの航路があり、いちき串木野市においても、英国留学生記念館のPRや様々な体験プログラムの事業者育成など、新たなファンづくりに注力しており、関係機関との連携を強化することによって広域観光の活性化を推進していくことが求められている。

そのために、九州経済産業局では、両市の連携による、ポスト/withコロナも踏まえた広域観光モデルの開発、地域の魅力を強化・発信する取組を支援するとともに、観光関係者の課題を解決し、民間主導で持続可能な地域で稼げる観光を構築するために必要な調査事業を実施するものである。

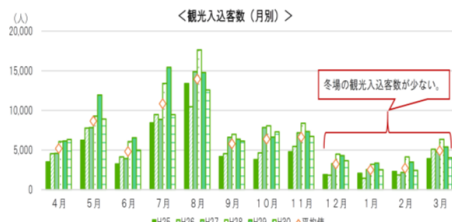
推進体制



実施内容

(1) 観光動向に関する現状の調査分析

閑散期である冬季も増加傾向にある。また、宿泊施設は減少しているが回転率は増加。また、航路利用者数が減少しながら、観光入込(延人数)が増加していることから、島内の回遊性の拡大や滞在期間の延長が推察される。



地域	平成 25 年度		平成 30 年度	
	施設数	総収容人数	施設数	総収容人数
里	8	273	7	170
上飯	5	60	6	42
下飯	19	380	17	305
鹿島	4	47	3	45
合計	36	760	33	562

宿泊施設の回転率
(年間宿泊数÷総収容人数) 約43回 → 約49回

<観光・シティセールス課>

新幹線を利用する九州圏内からの少人数(1~4名程度)の旅行者

取組の具体例	平成 30 年度までの取組状況
①連携、関係者の理解と関与	○協議会の各部署の開催や部会の合同実施等による交流の実施 ○観光物産協会が組織する「友の会」や「駅市取引業者会」との意見交換会の継続実施 ○観光振興部会ブロック会議開催による地元関係者の情報交換・勉強会の実施 ○日常マツプ等の作成による地域フックショップの開催や各種事業協力による制度周知の拡大 ○助八古道や櫻の木児童の再生プロジェクト等地域単位のツアー実施
②推進組織の設置	○鹿島ツーリズムビジョン推進協議会の設立・定期的な協議

コロナ禍の影響により来訪者が激減し、回復の見込みが見えない現状に対する危機感や不安が募っている状況。一方で、感染症の拡大防止のための移動・行動制限がある中でも、現状の打破に向けて前に進もうとする事業者は各々の特徴を活かす活動に取り組んでいる。

↓
統一的な活動目標・計画の策定に先立ち、改めて島内事業者の活動状況を把握して方向性を検討することが求められる。

(2) 活動方針・計画及び戦略方針の策定

協議会(8/30、10/1)承認の下、以下の検討会及びトライアルを実施し、次年度以降の方針案を策定・提案。

「たのしきこしきアイディアソン(意見交換会)」(10/26)

【計画検討会に向けた3つのチームの取り組みテーマ】

参加事業者数 ①里会場 7名 ②長浜会場 11名

こしきならでは！
超マニアックエコツーリズム
(言い出しっぺ→近藤さん：ガイド業)

～もう雨風のせいにはしない！～
全天候対応たのしきこしきの過ごし方
(言い出しっぺ→山河さん：宿泊業)

～欠航でも結構楽しめる？～
たのしきこしき本土連動サブスクリプション
(言い出しっぺ→石原さん：宿泊業)

「たのしきこしき新たな挑戦 ミートアップ(計画検討会)」(12/20、1/19-20)

<3つの活動チーム>

参加者数 12/20 雨天対策7名エコツアー7名サブスク1名、1/19 里会場7名長浜・手打会場7名

マニアックエコツーリズム チーム
(言い出しっぺ→近藤さん：ガイド業)

雨天対策 チーム
(言い出しっぺ→山河さん：宿泊業)

本土連動サブスクリプションサービス チーム
(言い出しっぺ→石原さん：宿泊業)

(共通課題)・収益性の確保/高付加価値化 ・情報集約と発信機能 ⇒持続可能な事業性

トライアルの検討～課題はあるがやれる事は進めよう～

参加者 クラフト体験市18名 体験エコツアー9名

関係者に体験参加してもらう「体験エコツアー」をトライアル開催
トレイルと食を組合わせた甕島の魅力を象徴するプログラムを準備・実践し、先ずは関係者にその魅力を体験してもらう。

エリアワンの活用方法検証を兼ねて「クラフト体験市」をトライアル開催
2～3の体験系メニューをエリアワンのロビースペースで実施。
島内で関心ある方への呼びかけを行う。

サブスクリプション型プログラムについて協議を実施

市比野温泉の関係者と島内事業者の「言い出しっぺ」の方が今後について意見交換を行う。



(3) プロモーションの計画・実施

趣 旨 新型コロナウイルスの影響下においても、工夫を凝らして進める島内事業者の新たな挑戦を地域メディアを通じて広く周知し、両市本土事業者の事業参画の誘導と、今後の展開が期待される県内から、また九州管内からのマイクロツーリズムの喚起を目指す。

地域FM：FMさつまさんだいの実施内容

▼番組での紹介

3/17放送の番組「田尾友輔のRIVER FRONT RADIO」内でのトライアルの様子などの紹介

▼サイトでの記事掲載

主要な取り組みの関連写真とともに、番組でも紹介したトライアル内容の記事を掲載（3月15日、3月16日）

地域新聞：南日本新聞への依頼

▼トライアルの様子の取材

予定してるトライアルについて、同行記事として掲載するための取材の実施

▼トライアル実施結果の記事掲載

取材した内容について、新聞紙面で記事掲載（3月15日付）

■■ 主なSNSの成果 ■■

1. FMさつまさんだい【Instagram】_表示数

◎投稿

- ・クラフト リーチ数1,458／インプレッション数1,923／いいね115
- ・エコツアー リーチ数2,663／インプレッション数2,848／いいね174

◎ストーリーズ

- ・クラフト URLクリック数12
- ・エコツアー URLクリック数18

2. FMさつまさんだい【Twitter】_表示数

◎投稿

- ・クラフト① インプレッション数2,691／URLクリック数13
- ・クラフト② インプレッション数1,473
- ・エコツアー① インプレッション数1,394／URLクリック数10
- ・エコツアー② インプレッション数745／URLクリック数4
- ・エコツアー③ インプレッション数963／URLクリック数16

今後の方向性等

●全体方針

本広域連携事業を契機に、行政主導から民間発案の主体的活動を起動し、島内事業者間の関係強化と両市本土事業者との連携によって、「新しい甑の楽しみ方（＝付加価値）」を創造し、”稼げる観光”実現を目指す。

●内容活動

今年度活動で起動した島内事業者主体の新たな活動の芽吹きを基盤に、島内事業者、本土事業者を更に巻き込み、活動を拡大する

トライアル
検証

R3年度活動、トライアル結果を検証し、今後の活動の方向性を抽出

広域連携
体制づくり

島内事業者の更なる巻き込み、両市本土側事業者との連携拡大で、広域連携の体制を構築

魅力
づくり

広域連携による「新しい甑の楽しみ方」の創造に取り組み、広域観光モデルルートに落とし込むと共に、「稼ぐ仕組みづくり」を検討する

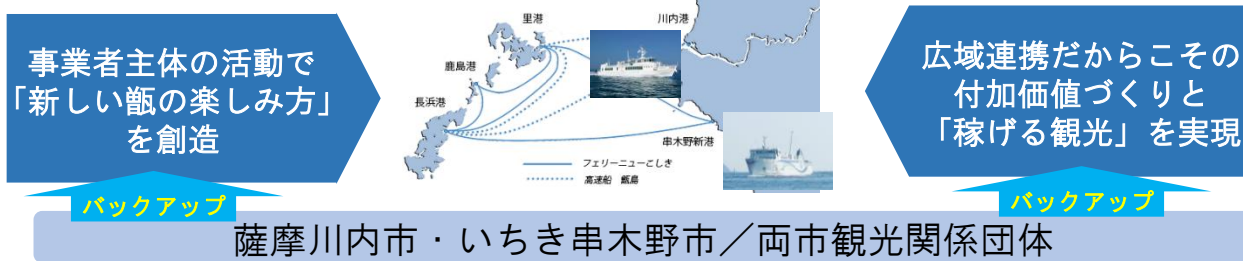
広域
ルート
開発

●成果指標

- ◇ 基本方針：R3年度活動の深度化と拡大
- ◇ 事業者主体の活動テーマ、商品化検討件数

- ◇ 島・2市本土連携具体化に向けた活動推進

●取り組み体制



行政主導から民間主体の活動への移行を目指し、意欲的事業者グループの「小さな成功体験」を積み上げながら、島内事業者のさらなる巻き込み、本土事業者との連携の拡大に取り組む。